

## 1. 島根県の学校図書館活用教育

「子ども読書活動推進事業」(H21)



「第1期 推進活動事業」(H21~H25)

- ・ 県内99パーセントの学校に学校司書等（有償ボランティア、司書A、司書B）が配置された。
- ・ 読書活動の推進、情報活用能力の育成がねらい



「第2期 教育振興基本計画 「学びを支え、心を育む 島根の学校図書館」(H26~)

- ・ 学校司書の配置の増加（AⅡ6時間、C7.75時間の新設）
- ・ 学校図書館活用教育研究事業の始まり

（趣旨）学校図書館を活用した授業実践に関する研究を行う小中学校を指定し、研究の成果を広く公開することにより学校図書館活用教育を県内に普及し、もって児童生徒の情報活用能力及び思考力・判断力・表現力の育成を図る。

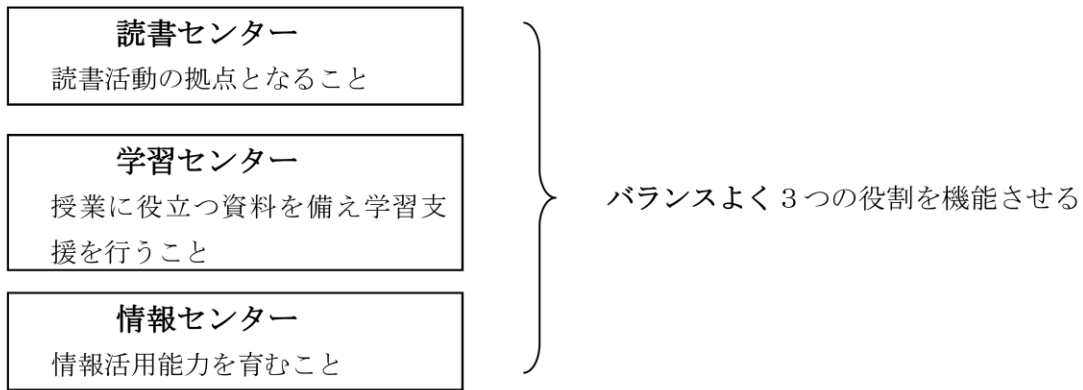
（内容）

- ・ 2年間の研究
- ・ 週に6時間、司書教諭・担任・学校司書で連携して授業を行う。
- ・ 教科の単元の中で展開する学校図書館を活用した授業についての研究。

## 2. 仁摩小学校の図書館活用教育に関する流れ

- 「学校図書館大改造（パワーアップ事業）」(H21~H23)
- 「学校図書館活用教育研究事業」1年間（H25）
- 「学校図書館活用教育研究事業」2年間（H26・27年）
- 図書館を2つに 「夢の広がる海図書館」「発見の森図書館」（H27年）
- 「学校図書館活用教育研究事業」2年間（H28・29年）

### 3. 学校図書館に求められること



### 4. 情報活用能力

#### ○情報活用能力とは

取り出した情報を整理し、分析し、まとめ、アウトプットするといったことがらも含め、それらを行うことができる能力。

①課題の設定 → ②情報の収集 → ③整理・分析 → ④表現・伝達

#### ①課題の設定

【絞る】 三点決め、ペンタゴンチャート

【広げてから絞る】

連想して広げる：イメージマップ、マンダラート法

ブレインストーミング（吐き出す）：ボーン図、KJ法

#### ②情報の収集

- ・ 目次、索引、百科事典の使い方
- ・ 書き抜き、要約の仕方
- ・ 情報カードの利用

#### ③整理・分析

- ・ 比較して考える。（比べる）
- ・ 分類して考える。（仲間分け）
- ・ 関連付ける。（繋げる）

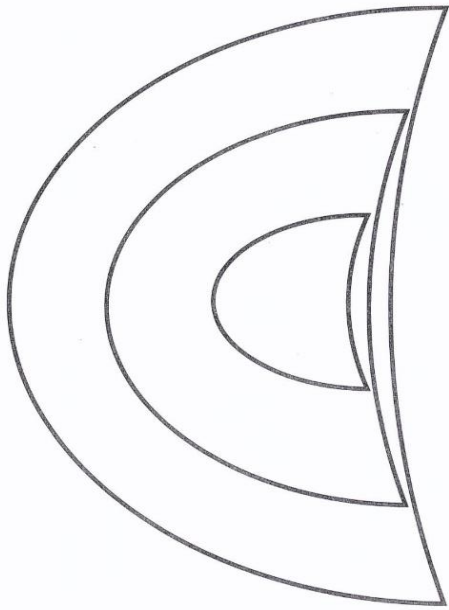
#### ④表現・伝達

- ・ 誰に、何を伝えたいのかを考えて手段を選ぶ。  
新聞、レポート、パンフレット、リーフレット など
- ・ プレゼンテーション

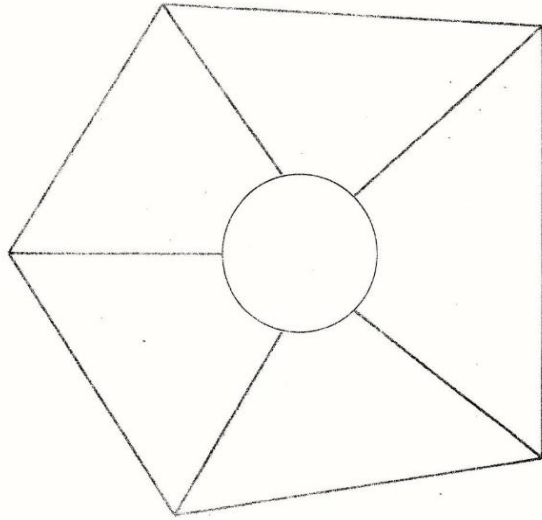
教科のねらいを達成するための図書館活用教育である

【課題設定 ツール】

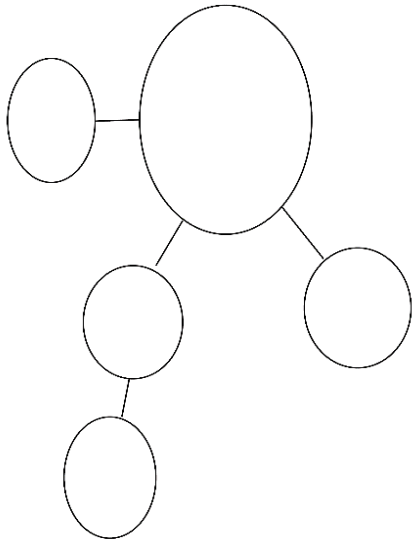
三点決めシート 年 組 ( ) 名前 ( )



ペンタゴンチャート 年 組 ( ) 名前 ( )



<イメージマップ>



<マンダラート法>

水

集中豪雨	水不足	
ペットボトル		
わき水		

調べたい事を文で書きましょう

ポーン図 年 組 ( ) 名前 ( )

行事

授業

学校紹介

施設

部活動

